

# 実装基板分割機 MAESTRO 4S/450

安定した分割作業を可能にするリニアスプリット方式を採用！  
マルチカット方式(自動複数回カット)により、基板に与えるストレスを大幅に低減！

## 特徴

基板が静止した状態(V溝を下刃に固定)のまま上刃(自動可動)が動いて分割するので、V溝以外の箇所を切る事はありません。

上下刃のギャップを徐々に狭めながら複数回に分けて上刃を滑らせるマルチカット方式を採用 基板に与えるストレスを大幅に低減。

刃の交換時期の目安が分かるマイレージ測定機能を搭載しました。分断長さはコントロール・キーでプログラムできるため、作業の簡略に貢献します。

V溝を下刃(直線刃)に固定した状態で分断するため、V溝の途中でカットアウト部が混在している基板にも問題なく対応できます。



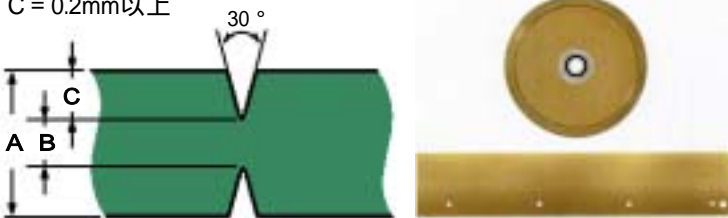
## 仕様

### 対応するV溝仕様

A = 1.0 ~ 3.2mm B = 0.2 ~ 0.8mm  
C = 0.2mm以上

### 分割刃(チタンメッキ仕様)

高寿命なので量生産工程向き。



### マイレージ測定・表示機能

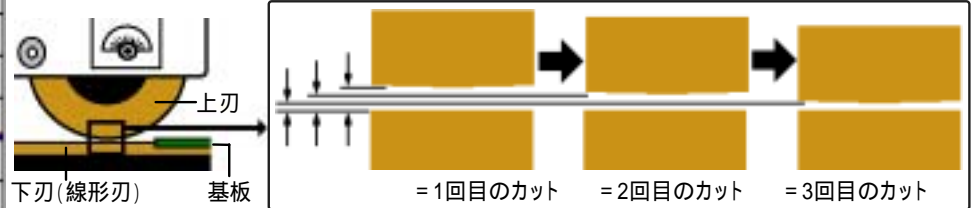
上刃が動く度に、移動距離が加算されていくので、トータル分割距離が分かります 刃の交換時期の管理が容易になりました。

分割長さ	1 ~ 450mm	
対応基板	・V溝残厚	0.2 ~ 0.8mm
	・基板厚み	0.8 ~ 3.2mm
	・部品高さ制限	上下ともに最大34mm
分割速度	H (high)	500mm / 秒
	L (low)	300mm / 秒
プログラム数	9	
分割ステップ数	1 ~ 5	
距離計	最大: 99.99km	
電源	100 ~ 240V, 50/60Hz	
外形寸法	(W)702 × (D)454 × (H)434mm	
本体重量	38kg	

## 基板へのストレスを大幅に低減するマルチカット方式(上下刃のギャップを徐々に狭めながら数回に分けて分割)



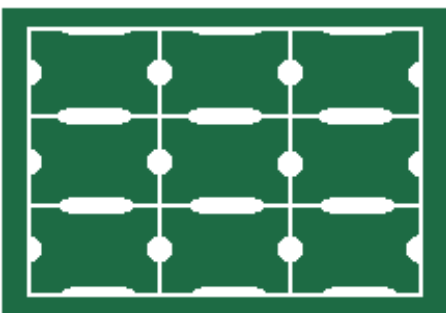
カット回数を1~5回まで設定可能 (下記は、3回に設定した場合のイメージ図) あらかじめプログラム設定する事で、徐々に刃間ギャップを縮めながら、自動的に複数回カットします。



マルチカットモードによる作業時には上下刃のギャップを0~0.6mmの範囲内で、5回まで (ピッチは0.05mm) 設定可能。また、この条件 (範囲/回数/ピッチ) は8通りまで、本体にプログラム入力できます。

## カットアウト混在基板も分割できる汎用性の高いリニアスプリット方式

基板のV溝部分が下刃にしっかり固定された状態で上刃が溝を抉るように走る機構になっているため、刃がV溝以外の箇所にはみ出てカットする事故を回避できる上、V溝の途中でカットアウト部が混在する基板にも対応できます。



\*上刃と下刃のギャップはロータリーノブで精密に制御できるため、刃入れ深度を自由に設定可能。上刃の可動範囲 (分割長さ) の設定もできます。

### ロータリーノブ

